

妙安寺だより

テレフォン法話 092-751-608

4

仏事の基礎知識 ⑧ お彼岸

春分・秋分の日を真ん中にして、前後合わせて7日間をといいます。彼岸の行事はわが国に特有なもので、平安時代初期に朝廷で始まり、一般庶民に広まって年中行事化されたのは、江戸時代になってからだといわれています。この期間に寺院では法要を営み、先師や故人の霊を供養します。また人々は寺院へ行ったり、御先祖のお墓にお参りしたりします。私達はこのように主として御先祖の供養を行なっていますが、とははたしてご先祖のためだけの行事なのでしょうか？

もともと彼岸とは、私達の住むこのに満ちた世界をというのに対して、涅槃常楽の仏の覚りの世界の事を言います。つまり彼岸会は、仏の世界に到達するという願いをこめて行なう行事で、御先祖のためだけの行事ではないということになります。

故人となった御先祖が彼岸へ到達して欲しいというのは、私達の切なる願いであるのは勿論で、そのためにお寺で供養してもらったりお墓にお参りしたりするのですが、私達の願いはそれだけではありません。私たち自身もまた彼岸に到達したいと願っており、そのためにお題目の信仰をしているのです。このように彼岸会は御先祖だけではなく、私たちのための行事でもあるわけです。

秋季お彼岸お施餓鬼法要の案内

9月26日(水) 正午より おトキ

午後1時より お施餓鬼法要 午後2時より 法話

*20日、23日 午前11時より、法華経読誦回向

*ソトバ供養御希望の方は、早めにお申し込み下さい。(ソトバ供養料 1霊位 2,000円)

熊本県立美術館「熊本城築城400年記念展」拝観旅行の案内

期日 10月26日(金) 費用 7,000円(拝観料、昼食、バス代含む) 定員 20名

締切日 9月26日

※10名以下の場合は、JR・タクシーを利用